

2021年12月24日

各位

会社名 株式会社レーサム
代表者名 代表取締役社長 小町 剛
JASDAQ コード 8890
問合せ先 上級執行役員管理本部長 片山 靖浩
電 話 03-5157-8881

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、2025年度末までを株主価値の向上に取り組む重点期間として定め、その進捗を慎重に見極めつつ、上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (移行基準日時点)	7,201人	95,346単位	79.6億円	20.6%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目				○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

【基本方針】

流通株式比率向上のためには、自己株式の処分等エクイティ・ファイナンスが有効であるものの、それらの施策による希薄化が株主利益を損なう可能性があります。したがって、まずは株主価値向上を図り自己株式の処分等による希薄化を払拭できる状況を目指すことが重要であると考えております。

持続的な成長及び中長期的な企業価値・株主価値の向上に取り組む、より多くの投資家が参画しやすい環境を整えた後、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを方針として、各種取組を進めてまいります。

【課題】

当社は、株主還元の一環として2018年から段階的に自己株式の取得を行ってきておりますが、それが結果として流通株式比率を低下させた要因となっていると認識しております。自己株式数は2021年9月末時点で9,426,586株、発行済株式数の20.4%となっております。

【取組内容】

1. 中長期的な企業価値・株主価値の向上に向けて

中長期的な企業価値・株主価値向上を目指す「中期経営計画」の検討に着手します。

既存の経営環境下での着実な成長と株主還元の目標水準をこの計画に組み込み、その発表を2022年3月期の決算発表時に行い、適切な情報発信により株式市場のより一層の信認を得るべく取り組んでまいります。

上記に加えて自己株式の活用について、持続的成長に寄与する「海外富裕層も視野に入れた戦略的パートナーとのアライアンスでの活用」「M&A等の原資として使用」「株式価値向上が適切なインセンティブとして有効となる役職員に対する株式報酬として活用」といった様々な活用選択肢を総合的に検討してまいります。

同時に、従前より当社の経営の基本方針に掲げております「健全な財務体質の維持」にも引き続き注力し、着実な成長により自己資本を積み増し、自己資本比率50%以上を堅持しながら、自己株式の処分等によるエクイティ・ファイナンスも視野に入れてまいります。

※流動株式比率に直接寄与する取得済の自己株式の処分等（公募によるエクイティ・ファイナンス）につきましては、上記記載の企業価値・株主価値の向上の実現に向けた各種取組には一定の時間が必要と考えており、その進捗を慎重に見極めて検討してまいります。

2. 2025年度末までに上記1に記載した各種施策に取り組み、その時点で流動株式比率が上場維持基準を充たしていない場合には、必要に応じて自己株式の消却を行ってまいります。

以 上